

岩国市に災害見舞金

岩国祭りバザー収益金から

11月11日、弥生会の二宮会長はじめ、代表7人が岩国市役所を訪ね、岩国祭りでのバザー収益5万円を8月の市内集中豪雨へのお見舞い金として福田岩国市長に託しました。応接室で二宮会長は「豪雨災害に役立ててください」と義援金入りの封筒を手渡し、福田市長は「有効に活用させていただきます」と感謝の言葉を述べました。二宮会長は「広島市内でも大きな被害があり、岩国市の災害が薄れてしまった感じがするが、あれだけの被害は経験がない。今後の対応をよろしく願います」と話していました。



福田市長(中央)に災害見舞金を託した二宮会長(左から3番目)ら代表7人



「わたしが私になるとき」

小林一郎先生の講演を聴く

1月19日、熊本大学大学院教授で錦帯橋世界文化専門委員会委員長の小林一郎先生(写真)に講演していただきました。最初に先生は自己紹介をされ、なぜ「フランスに留学することになったか」なぜ岩国市との関わり

ができたかを軽妙な語り口で話され、いつの間にか、先生の話に引き込まれていました。演題の「わたし」は自然のままの自分、「私」は社会との関わりの中の自分を差すものです。パスポートを紛失した際、「わたし」

第八回総会並びに記念講演会のお知らせ

- ・日時 5月9日(土) 午前10時
- ・会場 白崎メモリアルコート
- ・講師 宮本 剛先生
- 高水高等学校付属中学校校長

後日ご案内を差し上げますので、お誘い合わせの上、ご参加下さい。

が「私」であると証明するために大変苦労した話から、何が「私」と証明してくれるかの話になり、パスポートは「わたし」を国が日本人である「私」だということを証明してくれているのだそうです。

赤ちゃんのような自分勝手な「わたし」から、他者がいる社会の中ではじめて「私」になるのだそうです。

それでは日本人であることの証明は何かというところ、日本語で考えていること、ことばの裏にある(日本人としての)考え方がベースにあつて、お互いの考えを

伝えることができる、ということだそうです。そのため、小さいころから「正しく美しい日本語を教える」ことが日本人であるために重要だと話されました。

小林先生の著書「風景の中の橋」



皆様の「ご意見・ご提言を

いわくバスについて大募集!

皆様ご存じと思いますが、岩国市のバス事業は岩国市交通局からいわくバス株式会社に路線を順次移管し、平成27年4月に完全民営化されます。しかし、岩国市交通局・いわくバス株式会社が運行する路線ではマイカー利用の増加とともに近年コミュニケーションバス(見直し等)の影響もあり、利用者が大きく減少しています。

弥生会では、平成24年11月の季刊やよい18号でも、7月に就任されたばかりの上田純史社長にお話を伺っています。岩国市民の足であるいわくバスが健全経営で長く存続していただくために、全

面的に応援したいと思えます。そこで、皆様にいわくバスへの提言、ご意見を伺いたいと思えます。

日程は未定ですが、いわくバスの上田純史社長との懇談会も企画しております。

なお、参考までにホームページ <http://www.iwakuni-bus.com> も参照ください。

ご意見・ご提言は
〒740-0012 岩国市元町
1-1-17 デミオ元町201 F
A X 0 8 2 7 (3 0) 6 5 7 7
E m a i l y a y o i k a i 2 0 0 8 2 1 1
@ yahoo.co.jp